

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第9章 大交易・大交流の時代・1 アジア交易 世界の興隆 明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。 第10章 アジアの諸帝国の繁栄・1 オスマン帝国とサファヴィー朝 オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 2 ムガル帝国の興隆 ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 3 清代の中国と隣接諸地域 清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向・1 ルネサンス ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 2 宗教改革 それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 3 主権国家体制の成立 主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 5 北欧・東欧の動向 主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。プロイセンとオーストリアの関係の推移を多面的・多角的に考察し表現する。啓蒙専制主義の特徴を理解する。 6 科学革命と啓蒙思想 科学革命の成果について、自然法則の発見以外にも着目して理解する。 第12章 産業革命と環大西洋革命・1 産業革命 イギリス産業革命が世界経済や社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 2 アメリカ合衆国の独立と発展 アメリカ合衆国の独立がヨーロッパ諸国に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 3 フランス革命とナポレオンの支配 革命中のフランス国家体制の変遷や革命が諸外国に与えた影響を理解する。 4 中南米諸国の独立 中南米諸国の独立運動に共通する点を理解する。	○指導事項 第9章 大交易・大交流の時代 第10章 アジアの諸帝国の繁栄 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向 ○教材 ・教科書・資料集・プリント等 ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト、レポートの提出等	【知識及び技能】 ヨーロッパの海洋進出について、その動機や背景、経緯を理解している。オスマン帝国とサファヴィー朝がどのように支配を確立し、統治をおこなっていたのかを理解している。ムガル帝国において非イスラーム教徒に対する施策がどのように変化したのかを理解している。清朝の基礎が築かれた経緯や清代の政治と社会の特徴および周辺諸国との関係について理解している。ルネサンスの特徴や広がり、それが後世に与えた影響を理解している。新しい宗派の成立過程やその後のヨーロッパの宗教分布を理解している。主権国家および主権国家体制の成立について、それまでのヨーロッパの状況と比較したうえで理解している。北欧・東欧の各国の関係の推移や、それぞれにおける改革の内容を理解している。ウェストファリア条約の内容や当時の戦争の様子を示す図像資料をもとに、主権国家体制の成立と戦争の関係を多面的・多角的に考察し表現している。覇権争いの経過や「権利の章典」などの資料をもとに、イギリスが覇権を握るに至った要因を多面的・多角的に考察し表現している。アメリカ合衆国がどのような歴史的経緯をたどって独立したのかを理解している。フランス革命が起こった要因やナポレオンが台頭した背景を理解している。中南米諸国の独立がどのような経緯をたどって実現したのかを理解している 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ人による航海と探検を示す地図やラズ・ヌカサス『インディアスの破壊についての簡潔な報告』などの資料をもとに、ヨーロッパの海洋進出が諸地域にもたらした影響を多面的・多角的に考察し表現している。オスマン帝国とサファヴィー朝を比較したうえで、それぞれの特徴や両者の関係を多面的・多角的に考察し表現している。ムガル帝国の興隆と衰退が南アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。美術作品の図像などの資料をもとに、ルネサンスの新しいさと古さを多面的・多角的に考察し表現している。「九十五カ条の論題」や『キリスト者の自由』などの資料をもとに、宗教改革の動きが広まった要因を多面的・多角的に考察し表現している。アメリカ独立宣言や「権利の章典」（第11章4節）などの資料をもとに、アメリカ合衆国独立の独自性を多面的・多角的に考察し表現している。「旧体制」の風刺画などの図像資料や人権宣言などの資料をもとに、フランス革命において「国民」を主役とする社会が創出されたことについて、多面的・多角的に考察し表現している。中南米諸国の独立年を示す地図などをもとに、ヨーロッパ情勢をふまえたうえで、短期間に多くの独立が達成された要因を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 アジア交易世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。オスマン帝国とサファヴィー朝について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見だして、見通しを持って学習に取り組もうとしている。ムガル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。ルネサンスについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。宗教改革について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して主権国家体制の成立について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。オランダ・イギリス・フランスの覇権争いについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し	○	○	○	65 (内 考 査 2 時 間)

2 学 期	第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成・1 ウィーン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 ウィーン会議の参加者たちがどのような国際秩序をめざしていたかを理解する。ヨーロッパ内の地域差に着目して多面的・多角的に考察し表現する。 2 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 クリミア戦争におけるロシア・イギリス・フランスのそれぞれの思惑を理解する。北欧諸国の安定性について、周辺諸国と比較したうえで多面的・多角的に考察し表現する。 3 アメリカ合衆国の発展 領土拡大がアメリカ社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。南北戦争において北部が勝利した要因を理解する。 4 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 国民文化と国民国家形成との関係を多面的・多角的に考察し表現する。近代諸科学の発展の要因とその成果が広まった背景を理解する。 第14章 アジア諸地域の動揺・1 西アジア地域の変容 オスマン帝国の動揺の要因を多面的・多角的に考察し表現する。オスマン帝国の改革の成果と課題を理解する。 2 南アジア・東南アジアの植民地化 ヨーロッパ各国の東インド会社が南アジアでおこなった活動の状況を理解する。東南アジアの植民地化の経緯を理解する。 3 東アジアの激動 清朝による国内秩序の再建の試みについて、その成果と課題を理解する。欧米諸国の進出と日本の台頭が東アジア諸国間の関係に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 第15章 帝国主義とアジアの民族運動・1 第2次産業革命と帝国主義 新しく生まれた電気・化学製品が人々の日常生活に与えた影響を理解する。この時期に国際労働運動が再燃した背景とその特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 2 列強の世界分割と列強体制の二分化 列強の植民地化によるアフリカの社会や文化の変容を多面的・多角的に考察し表現する。列強による太平洋地域の植民地化の経緯を理解する。 3 アジア諸国の変革と民族運動 日清戦争と日露戦争が中国および東アジアに与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。インドにおける民族運動の社会的背景を多面的・多角的に考察し表現する。 第16章 第一次世界大戦と世界の変容・1 第一次世界大戦とロシア革命 バルカン半島で緊張が高まった背景を理解する。ロシア革命の経緯を理解し、その歴史的意義を多面的・多角的に考察し表現する。 2 ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 第一次世界大戦後の新たな国際秩序が形成された経緯を理解する。イタリアにおけるファシズム体制成立の背景を多面的・多角的に考察し表現する。 3 アジア・アフリカ地域の民族運動 第一次世界大戦後のインド・東南アジア・アフリカにおける民族運動の経緯を理解する。 第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成・1 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 世界恐慌が起こった背景やその影響を多面的・多角的に考察し表現する。 ニューディール政策およびブロック経	○指導事項 第12章 産業革命と環大西洋革命 第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成 第14章 アジア諸地域の動揺 第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成 ○教材 ・教科書・資料集・プリント等 ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト、レポート提出等	【知識及び技能】 19世紀前半のヨーロッパ情勢がどのように推移したのかを、ウィーン体制や1848年革命、さまざまな主義主張の特徴とあわせて理解している。南北戦争につながったアメリカ合衆国内の対立構造やその後の展開を理解している。19世紀欧米文化の展開と近代諸科学の発展の経緯を理解している。ヨーロッパ各国による南アジアと東南アジアの植民地化の経緯を理解している。欧米諸国の進出の経緯と東アジア諸国の改革の試みの成果や課題を理解している。第2次産業革命が社会に与えた影響や帝国主義時代の欧米列強の国内情勢および植民地拡大の経緯を理解している。第一次世界大戦とロシア革命がどのように展開したのかを、戦時外交や総力戦の特徴、大戦のもたらした結果などとあわせて理解している。第一次世界大戦後に形成された国際秩序の内容やその特徴、その後の国際関係の変化について理解している。世界恐慌が国際関係に与えた影響や各国の対応策、およびヴェルサイユ体制の崩壊にいたる経緯やファシズム諸国・日本の動きについて理解する。第二次世界大戦の対立の構図と勃発から終戦までの経緯を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ウィーン会議後のヨーロッパを示す地図や会議を風刺した図像資料などをもとに、ウィーン会議がヨーロッパ各地の人々に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。列強の植民地・勢力圏を示した地図や帝国主義を風刺した図像資料をもとに、列強による世界分割が各地に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。塹壕戦やさまざまな新兵器、軍需工場で働く女性の図などの第一次世界大戦に関する図像資料および「平和に関する布告」などの資料をもとに、第一次世界大戦とロシア革命が世界にもたらした変容を多面的・多角的に考察し表現している。各国の国内情勢を写した図像資料や「十四カ条」などの資料をもとに、1920年代の欧米各国における変容を多面的・多角的に考察し表現している。戦場を写した図像資料や「大西洋憲章」などの資料をもとに、第二次世界大戦の特徴を多面的・多角的に考察し表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ウィーン体制について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出し、見通しを持って学習に取り組もうとしている。19世紀後半のヨーロッパの再編成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アメリカ合衆国の発展について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。南アジア・東南アジアの植民地化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。東アジアの激動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。第2次産業革命と帝国主義について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。列強の世界分割について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アジア諸国の変革と民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。第一次世界大戦とロシア革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。ヴェルサイユ体制下の欧米諸国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。アジア・アフリカ地域の民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。世界恐慌やヴェルサイユ体制の崩壊について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとし	○	○	○	70 (内 考 査 2 時 間)
-------------	---	---	---	---	---	---	------------------------------------

3 学 期	入試対策演習 第9章 大交易・大交流の時代・1 アジア交易世界の興隆 明朝初期の国内統治の特徴を多面的・多角的に考察し表現する。 2 ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ヨーロッパの人々が遠洋に乗り出していった動機や背景を多面的・多角的に考察し表現する。ヨーロッパの人々の進出がアジアにもたらした影響や変化を理解する。中南米の先住民が短期間でスペイン人に征服された要因を理解する。 第10章 アジアの諸帝国の繁栄・1 オスマン帝国とサファヴィー朝 オスマン帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。サファヴィー朝の支配がイラン社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現する。 2 ムガル帝国の興隆 ムガル帝国の基礎が築かれた経緯を理解する。ムガル帝国におけるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の関係を多面的・多角的に考察し表現する。 3 清代の中国と隣接諸地域 清朝の領土に組み込まれた民族と、彼らがどのように統治されていたかを理解する。 第11章 近世ヨーロッパ世界の動向・1 ルネサンス ルネサンスの担い手や彼らの動機について理解する。 2 宗教改革 それまでの教会改革の試みと16世紀の宗教改革の違いを多面的・多角的に考察し表現する。 3 主権国家体制の成立 主権国家体制の成立の経緯を多面的・多角的に考察し表現する。アウクスブルクの和議とウェストファリア条約の異なる点を理解する。 4 オランダ・イギリス・フランスの台頭 17世紀におけるオランダの経済的な覇権獲得および衰退の要因を多面的・多角的に考察し表現する。17世紀における2つのイギリスの革命について、国際的な状況もふまえて理解する。 5 北欧・東欧の動向 主権国家体制においてポーランドとスウェーデンが占めた位置を理解する。 プロイセンとオーストリアの関係の推	○指導事項 ・基本的学習事項をテーマ毎に扱い、実践力を身につける。 ○教材 ・教科書・資料集・プリント等 ○単元ごとに行う評価活動 ・テスト等	【知識及び技能】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	40
							合計
							175